

町工場で学び・体験

せつつキッズファクトリーを開催



ドアの向こうは、
初めて見る光景
だったよ



金属板がカットされる様子を間近で見学。「レーザービームが出ているー」



加工前と加工後の金属ロールを観察。「加工後はツルツルになっているよ」と興味津々のこどもたち。

11月29日(土)、鳥飼エリアで2回目となる「せつつキッズファクトリー2025」を開催しました。参加企業を昨年の5社から11社に拡充し、計2千560人の来場がありました。各工場で見学会が実施され、ワークシヨップやミニゲームフードコーナーが設けられるなど、趣向を凝らした催しが展開されました。

普段見られない工場内部や生産工程を見学した参加者は「どのように製品が作られるのか」を学ぶ貴重な機会となりました。また、市内の駅と工場を結ぶ無料シャトルバスの運行や、スタンプラリー、オリジナルトレーディングカードの配布も行われました。

参加したこどもたちは「金属の板がレーザーでカットされる様子を間近で見て感動した」「自分の住む街で働く人たちの仕事がわかって楽しかった」と目を輝かせていました。

※市公式インスタグラム(上記QR)でも紹介中
問合せ 産業振興課へ

地域福祉の担い手

民生児童委員を委嘱 委嘱状伝達式を開催



△誓いの言葉を述べる奥田委員



△長年の功績に対し、感謝状を受け取る樋野委員

民生児童委員への ご相談は

暮らしのこと、子どものことなど、お気軽にご相談ください。

お住まいの地域の担当民生児童委員への相談方法は、保健福祉課にご確認ください。民生児童委員は法律で守秘義務が定められており、相談内容の秘密が守られます。

市は12月1日(月)、民生委員・児童委員感謝状等贈呈並びに委嘱状伝達式を行いました。

民生児童委員は、厚生労働大臣から委嘱された特別職の地方公務員で、任期は3年。12月1日に全国一斉に改選され、摂津市では97人が委嘱を受けました。担当する地域で、生活上の支援が必要な住民の相談相手となり、行政や関係機関への「つなぎ役」として活動します。また、ひとり暮らし高齢者の安否確認や行政・社会福祉協議会と

連携した地域ネットワークづくり、子育て世帯への支援などを行います。

式典では、35人の退任委員への感謝状の贈呈や、86人の再任委員と11人の新任委員への委嘱状の伝達などが行われました。委員を代表して奥田敦智委員が「市行政をはじめ関係機関と連携しながら、守秘義務を厳守し、住民の立場に立って相談に応じ、地域福祉の充実、発展のため取り組んでまいります」と誓いの言葉を述べました。

問合せ 保健福祉課へ